

タフライトモンスター シーボーグ G300J SEABORG G300J

●シーボーグ300Jをベースにさらなる高耐久モーターを採用（3年300キロ保証付き）。レスポンスのよい回転とパワーを生み出す。電動ジギングに対応するよう、ジギングモード、デブスアラームなどの新機能も搭載されている。ヤリ、スルメイカはもちろんライト泳がせや落とし込みなどハードな釣りにもおすすめできる。アルミ製ジョグレバー、マグシールドボールベアリング、ATD、フォールブレーキダイヤルなどのテクノロジーも満載。発売中。

■SPEC=300J/300JLの2機種、自重575g、最大巻き上げ力49kg、最大ドラグ力16kg、巻糸量PE 3号400m、4号300m、メーカー希望本体価格10万6000円



▲「モチレはもちろん、小さな触りも取れるんです」と田淵さん
▼数は今一つながら良型が多かった



これからのヤリイカに備える 間もなく公開の最強ロッドとは

★新タックルのお披露目釣り。驚きのポテンシャルは動画にて
★4代目となる極鋭ヤリイカが全面リニューアル。さてその正体は



★遅れていたヤリイカがようやく釣れ始めた。待ってましたとばかり名手2人が釣行

進化する軽さと感度 極鋭ヤリイカ

●初代から数えて4代目となる極鋭ヤリイカが新発売される。詳細はダイワのウェブサイトをご覧ください。2人に当日のインプレッションを聞いてみた。



▲極鋭ヤリイカの快適性は新機能のリアルシートにも隠されている



▲穂先は高感度スーパーメタルトップ



田淵 雅生
Masao Taniyasu

▲「極限の軽さと研ぎ澄まされた感度はヤリイカの触りさえも伝えてくれます。それにこのグリップが秀逸……」
全部は言えないけれど……

▶「驚きました。150号のオモリを背負っても重さを感じないんです。全体的なバランスもいいですね」



石塚 広行
Hiroyuki Ishizuka



▲「感度と操作性に助けられました」と石塚さん

田淵雅生、石塚広行が解説 最新タックルで快適に釣ろう

THE FRONT OF OFF SHORE FISHING vol.70

ヤリイカ最前線

at 内房勝山港出船

●「今シーズンはどうなるだろう」とヤリイカファンを不安にさせていたヤリイカが、年末あたりからようやく釣れ始めた。待ってましたとばかり釣行したのが田淵雅生、石塚広行の両氏、自慢の最新タックルを持参しての釣行だった。



★高耐久が自慢のシーボーグG300J



▲ヤリイカ用11センチ



▲スルメイカ用14~18センチ

快適イカ仕掛け

●ダイワはイカ仕掛けも豊富。ツノはMDスティックS PLやミラー、ツノ数も5~8本、長さ11~18cm、プランコヤ直結まで豊富に取りそろえている。

ところが、前日はとうとう変わって乗り降り。それでも2人は新製品の感触を楽しみながらタックル談議に終始する。

「最近のヤリイカ釣りでは、いかに微弱なアタリを取れるかが数をのぼすコツです」と田淵さん。それを完全サポートするのが極鋭ヤリイカなのだ。

プランツノ11センチに変更し田淵さんは直結10本、石塚さんはプランコ7本ツノにてスタートとなった。

船中ではポツポツとスルメイカが釣れ上がったところで8時、いよいよ本命の白浜沖へ移動となる。風裏となるこのポイントなら、本来のヤリイカ釣りが味わえるはずと2人はさらに意気込んでいる。

長20センチ級のスルメイカを釣り上げた。続けて石塚さんにも同級が1杯。



★当日の動画、詳細情報は1月22日公開！ダイワ「船最前線」をチェック

「まずはこの電動リール、3年保証という高耐久モーターで、300Jベースの4倍の耐久性を持ちます。ハードな使用が強いられるイカ釣りには最適です」

「この竿もすごいんです。まだ詳しくは言えませんが、軽さは感度を実感させてくれます」と田淵さん。

「いや、この軽さは驚き。操作性は異次元です」

石塚さんは初めて触った極鋭ヤリイカの軽さにびっくり、使い始めるとしきりにリールシートの握りやすさを評価していた。

13時の納竿までヤリイカの乗りは上向くことはなかったが、それぞれ本命の顔を見て、納得の表情で納竿。ムラっ気のない初期のヤリイカ、翌日からは順調に釣れ始めたようで、2人は再戦を期して船を下りた。

4代目となる極鋭ヤリイカがどんな変貌を遂げたのかは、1月22日公開の「船最前線」にてすべてが明かされる。ヤリイカファン必見である。



▲遅れて石塚さんも良型をゲット



▲田淵さんが船中1杯目のスルメイカ



▲前半は洲ノ崎沖、8時過ぎから白浜沖を狙った

未明の内房勝山港には、出船が危ぶまれるほどの強風が吹き荒れていた。それでも、「この日を待ちかねていたんですよ」と言う田淵雅生さんには強い意気込みすら感じられる。それもそのはず、ダイワから発売される最新ヤリイカ竿「極鋭ヤリイカ」、そして年末に発売されたばかりの小型電動リール「シーボーグG300J」のお披露目釣行だからだ。

石塚広行さんも同じく気合満々な表情なのは、初めての使用を心待ちにしていたからだろう。ただし、極鋭ヤリイカに関して

の詳細はこの後に公開されるダイワのウェブコンテンツ「船最前線」にてチェックしていただきたい。

6時過ぎに出船した萬栄丸は、追い風にも助けられ40分ほどで洲ノ崎沖水深170メートル前後のポイントに着

まずはスルメイカがメインとのこと、2人はプランツノ18センチの直結10本でスタート。高いウネリに翻弄されつつ、1投目から乗りをとりえた田淵さんが胴